

薬剤師の病棟配置の評価について

第1. 経緯

- DPCに導入する新たな機能評価係数のうち、「チーム医療の評価」については、チーム医療の概念・定義や具体的な評価指標について更なる検討が必要であり、出来高も含めた診療報酬全体で整理すべきであるとの意見も踏まえ、次期改定以降、引き続き検討することとなった（平成22年1月15日中医協総会）。
- 一方、現在、DPC対象病院において出来高で算定されている病棟における薬剤管理指導などの業務の評価（薬剤管理指導料）について、薬剤師の病棟配置に着目した評価手法（機能評価係数）の導入を検討することとされた。

第2. 具体的な評価手法の考え方

- 出来高で算定されている薬剤管理指導料について、仮に病棟における薬剤師の配置に着目して評価する場合、例えば次のような指標が考えられる。

(例1) $\frac{\text{勤務時間の〇割以上を病棟で勤務する常勤薬剤師人員数}}{\text{[DPC対象病床数]}}$

(例2) $\frac{\text{病棟勤務時間の常勤換算人員数}}{\text{[DPC対象病床数]}}$

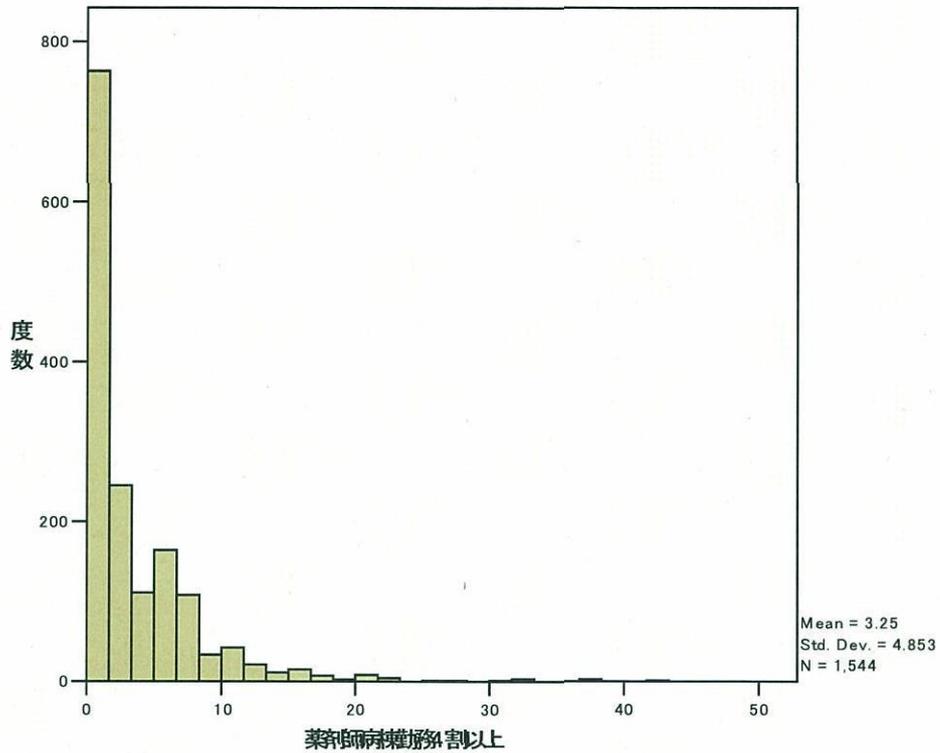
第3. 論点

- 薬剤管理指導料算定の実態と薬剤師の病棟勤務の状況の関係についてどのように考えるか。（参考 別紙）

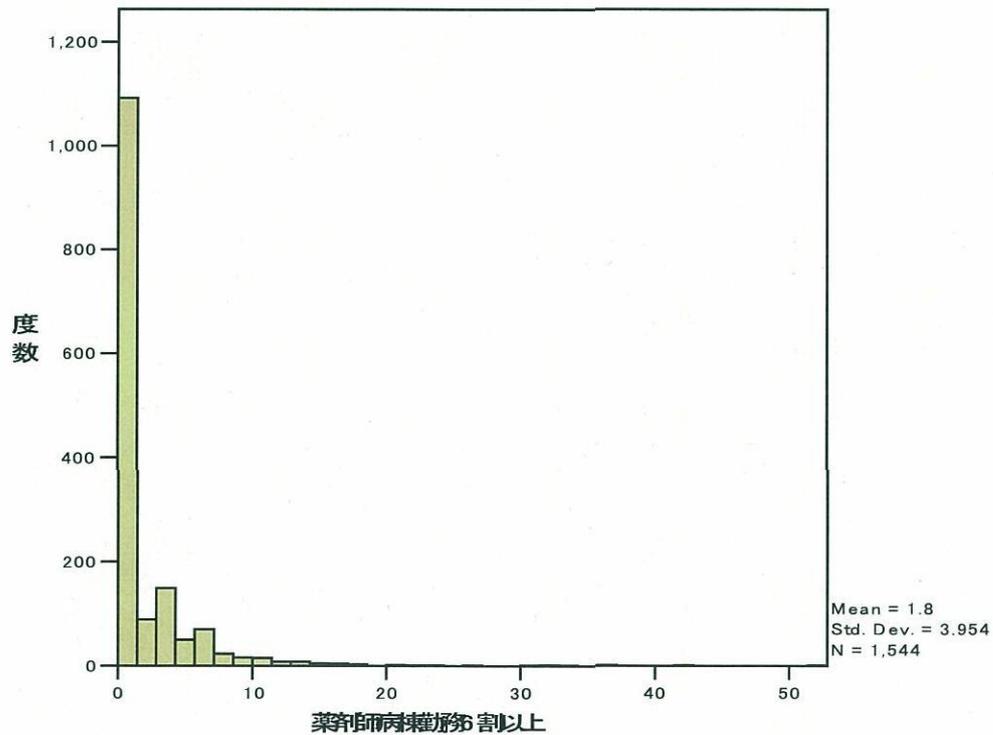
(別紙)

1. 薬剤師の病棟勤務状況と医療機関数 (DPC 対象病院)

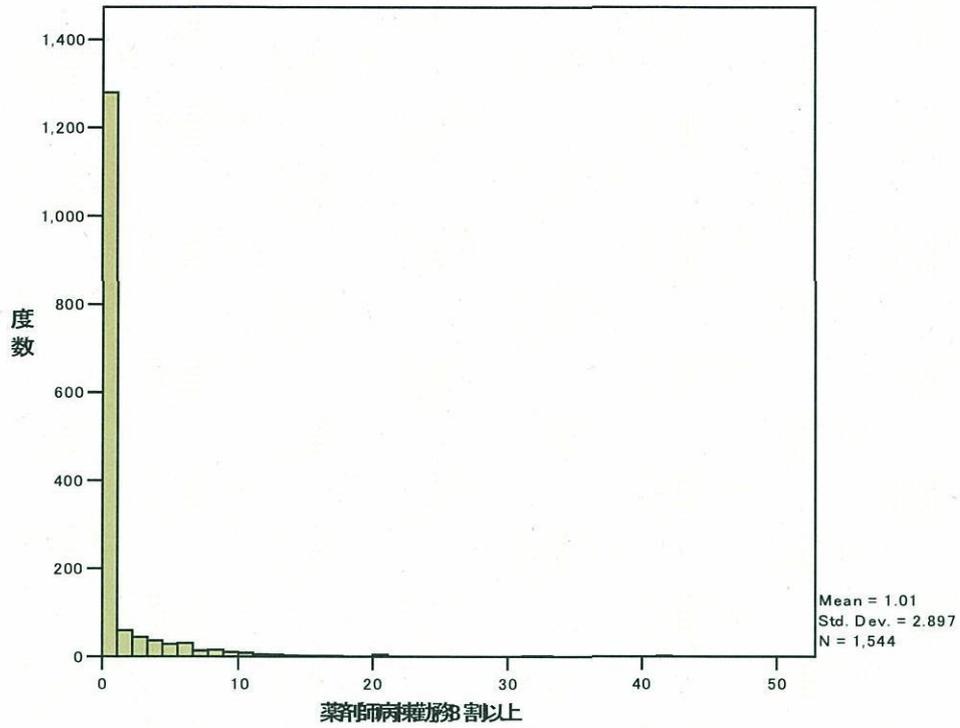
①-1 勤務時間4割以上の薬剤師数



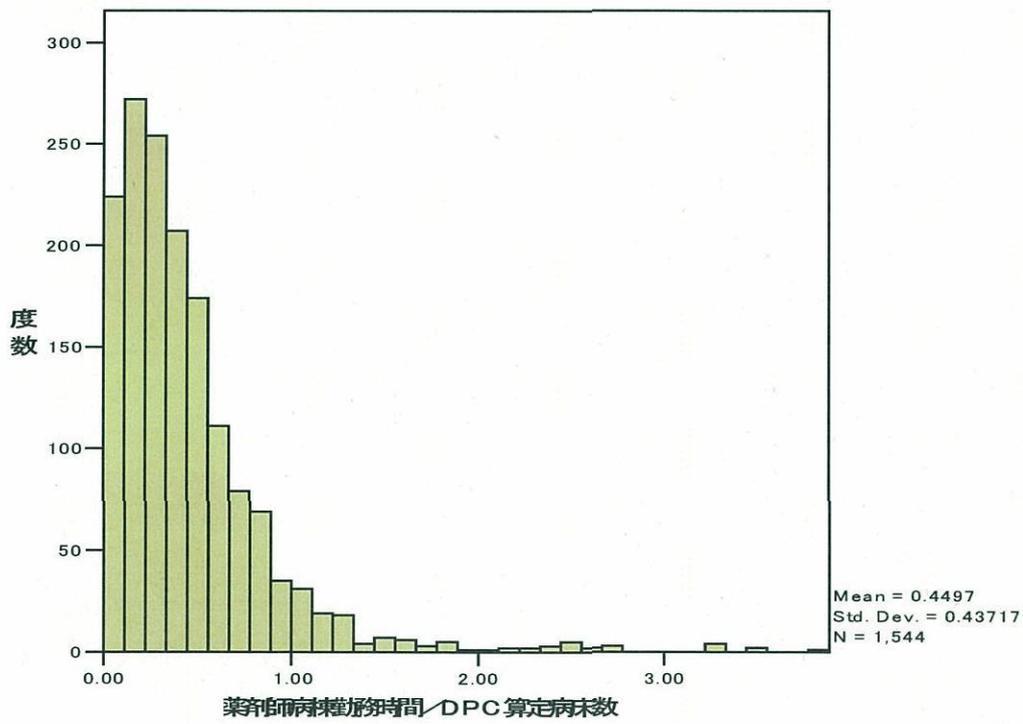
①-2 勤務時間6割以上の薬剤師数



①-3 勤務時間8割以上の薬剤師数

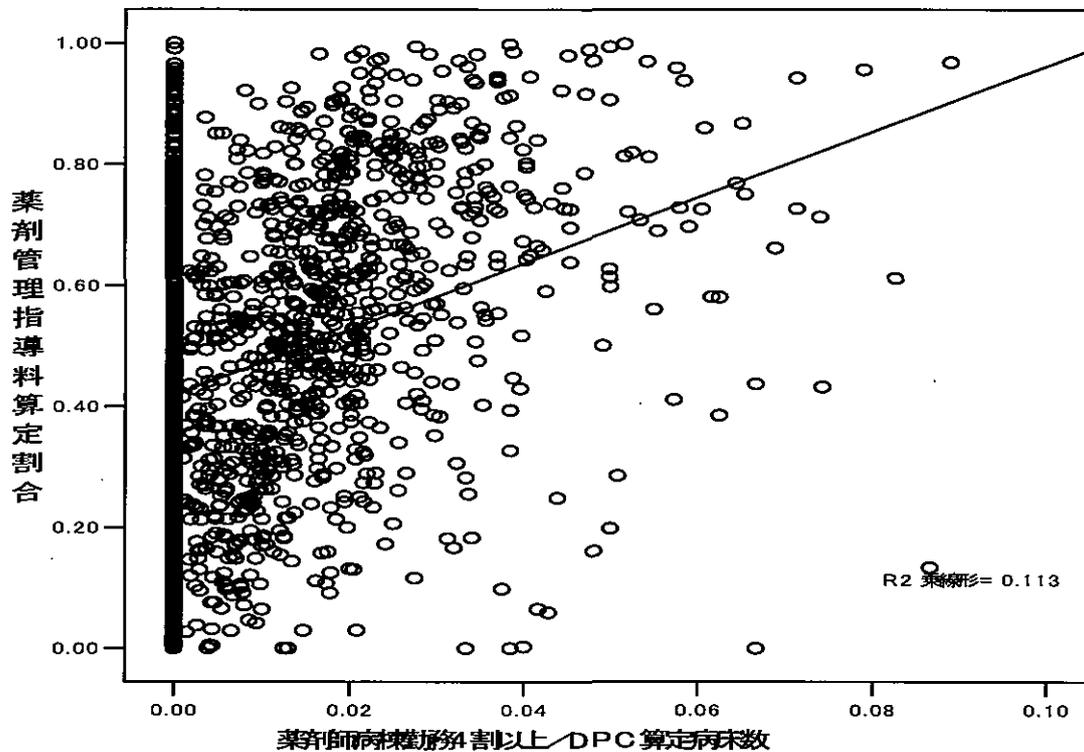


②病棟勤務時間

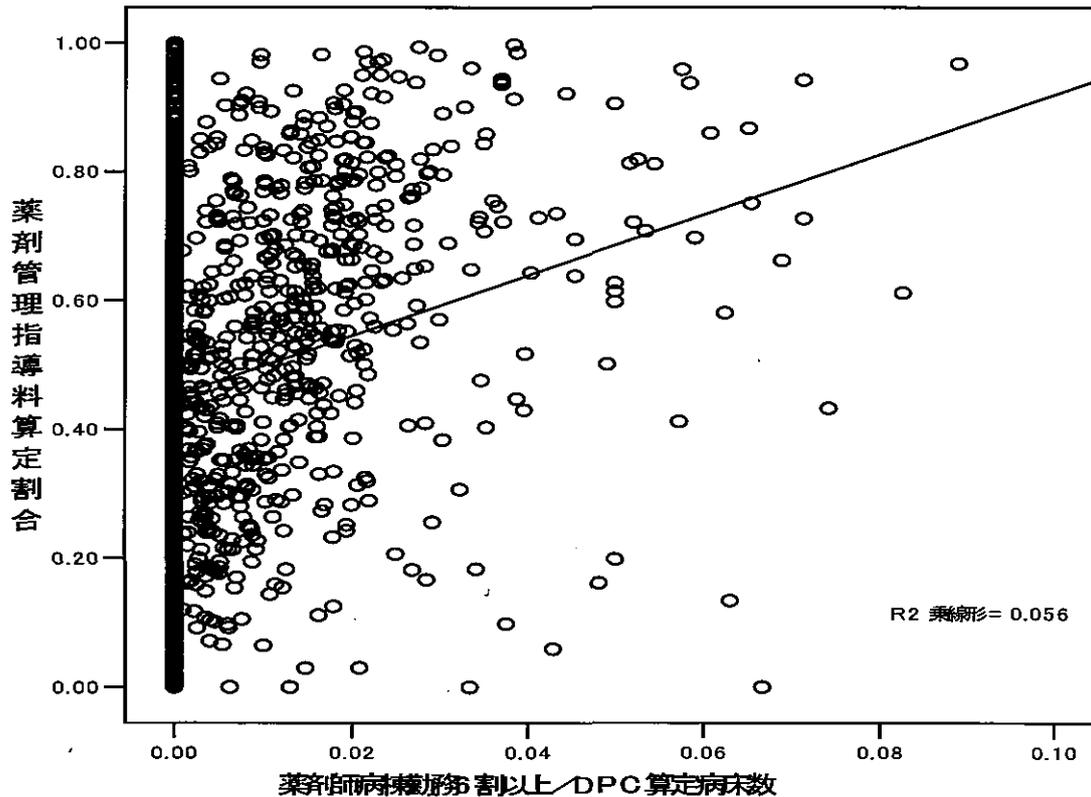


2. 薬剤師の病棟勤務状況と薬剤管理指導料算定割合

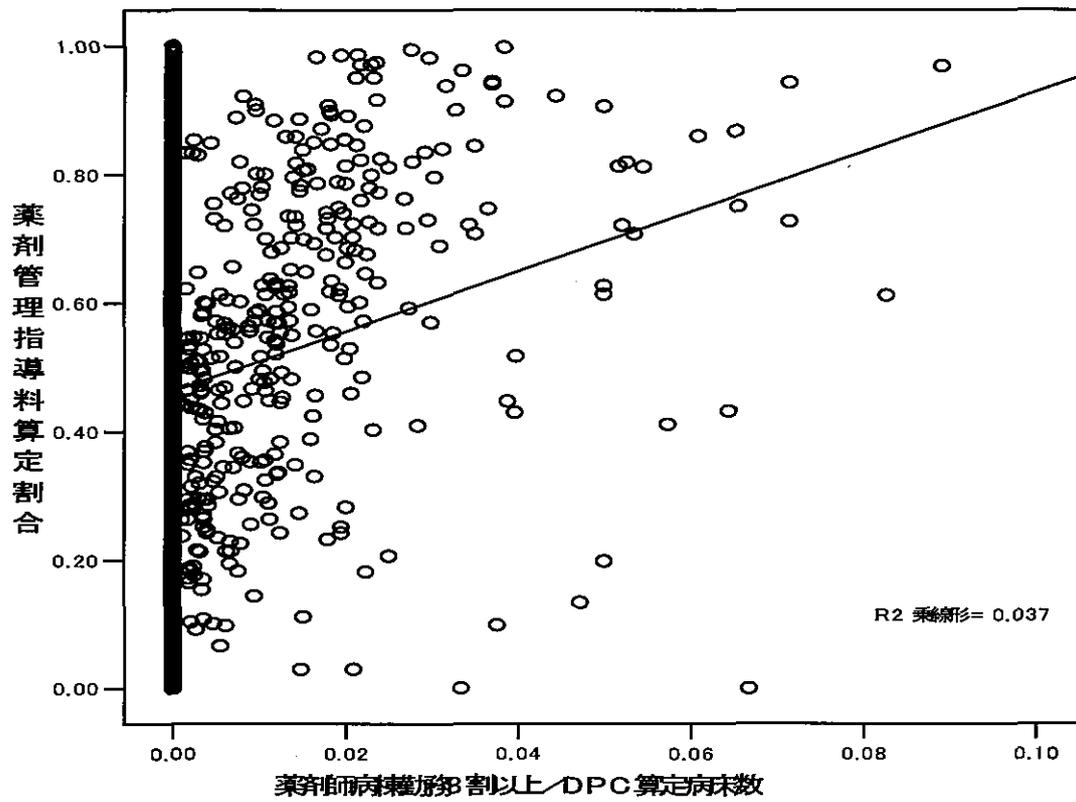
①勤務時間4割以上の薬剤師数（病床当たり）



②勤務時間6割以上の薬剤師数（病床当たり）



③勤務時間8割以上の薬剤師数（病床当たり）



④病棟勤務時間（病床当たり）

